

## 2018年度 社会福祉法人多摩福社会事業計画

2018年3月10日

### 1. 法人経営

- (1) 世代交代を見越した評議員・役員の構成を行う。
- (2) 法人の事業計画を整備し、将来に向けての具体的な計画を立てていく。
- (3) 経営会議を定期的開催し、各施設状況および国の社会福祉・保育情勢を把握して法人事業に反映させていく。
- (4) 法人本部事務局会議を今年度も定例化し、法人本部事務局の業務が着実に実施されていくようにする。

### 2. 人事計画・処遇改善

- (1) 賃金改定と施設給付費等に係る処遇改善等加算を連携させて人事計画を行う。
- (2) 適切な人事異動  
法人経営施設の増加にともない、従来の施設内での異動のみでは適切な人事管理が難しくなっていること。適切な職員間あるいは法人本部との人事異動を行い、人事を活性化するとともに職員のキャリアアップを図る必要が生じていることから適切な人事異動を行う。
- (3) リクルートの充実  
新規職員の採用を安定させるために、職場体験やインターンシップの充実を図り、リクルートの充実を図る。

### 3. 財務

- (1) 各拠点の財務分析を通して財務計画を立てる
- (2) 法人全体の財務状況を通して施設整備計画を検討する

### 4. 研修

研修については研修委員会を中心とし、今年度に引き続き年数回の職員研修を行う。

- (1) 法人研修
  - ・経営管理者・施設運営管理者養成研修
  - 他団体への研修参加・他法人との交流
- (2) その他研修（主任研修・保健研修・新人職員研修・多摩福社会合研・子ども理解基礎研修）
- (3) 施設間派遣研修
  - ・セクションごとに施設間派遣研修を計画する。

## 5. 広報

- (1) 法人ニュースを定期的に発行し、情報交流を図る。
- (2) 職員採用ポータルサイトの充実を図る。

## 6. 多摩福祉会創設 45 周年記念事業

- (1) 多摩福祉会 45 周年史を発行する。
- (2) 多摩福祉会 45 周年記念事業を実施する。
- (3) 浦辺史小伝の発刊を準備する。